



**HEXAGON**

リリースガイド

---

# リリースガイド

ERDAS IMAGINE 2022 アップデート 1

バージョン 16.7.1

2021年12月16日

## コンテンツ

このリリースについて .....	3
<b>ERDAS IMAGINE の製品層 .....</b>	<b>3</b>
新しいプラットフォーム .....	4
Windows 11 対応 .....	4
ライセンス .....	4
Apache Log4j .....	4
新しい技術 .....	5
空間モデラー .....	5
更新された Spatial Modeler Operators .....	5
From String .....	5
Raster Output .....	6
フォーマットサポート .....	7
Planet 社 SuperDove 衛星 .....	7
Pleiades Neo サポート .....	8
GeoTIFF Vertical Datum タグ .....	8
Capella SIDD NITF .....	8
一般的な ERDAS IMAGINE .....	9
ダイナミックレンジ調整メニュー .....	9
[Contents] パネルの [Legend] .....	9
ファイルジオデータベースの地物を編集 .....	9
システム要件 .....	10
ERDAS IMAGINE .....	10
ERDAS IMAGINE システム要件ノート .....	11
問題の解決 - ERDAS IMAGINE 2022 Update 1 .....	12
IMAGIN Essentials .....	12
IMAGINE Advantage .....	12
IMAGINE Objective .....	13
IMAGINE Photogrammetry .....	13
IMAGINE Professional .....	13
空間モデラー .....	13
ヘキサゴンについて .....	14

## このリリースについて

本書は、IMAGINE Photogrammetry (旧 LPS Core) を含む ERDAS IMAGINE 2022 Update 1 (v16.7.1) の機能強化について説明しています。

ERDAS IMAGINE 2022 Update 1 には、機能強化と修正が含まれています。ERDAS IMAGINE に加えられた修正については、「[解決された問題](#)」を参照してください。

本ドキュメントは概要のみであり、製品の機能に関するすべての詳細を説明するものではありません。詳細については、[製品の説明書](#)、[オンラインヘルプ](#)、ERDAS IMAGINE に付属するその他のドキュメントを参照してください。

## ERDAS IMAGINE の製品層

ERDAS IMAGINE は、高度なリモートセンシング分析と空間モデル化を行い、付加情報を作成します。また、結果を 2D、3D、またはビデオで、そしてカートグラフィック品質のマップコンポジションでビジュアライズすることができます。ERDAS IMAGINE 製品スイートのコアは、お客様の地理空間データに合わせて拡張可能です。オプションのモジュール (アドオン) は、生産性を高めるための特殊な機能を提供します。

IMAGINE Essentials は、地図作成や簡単なフィーチャリングツールとして、エントリーレベルの画像処理製品です。IMAGINE Essentials では、シリアルバッチ処理が可能です。

IMAGINE Advantage は、高度なスペクトル処理、画像レジストレーション、モザイクングや画像解析、変化検知機能を実現します。IMAGINE Advantage では、パラレルバッチを処理することで、より高速な出力が可能です。

IMAGINE Professional には、空間モデリング、画像分類、特徴抽出、高度なスペクトル、ハイパースペクトル、レーダー処理のためのプロダクションツールセットが含まれています。

IMAGINE Photogrammetry は、最先端のフォトグラメトリ衛星・航空画像処理アルゴリズムにより、生産性を最大限に高めます。

# 新しいプラットフォーム

## Windows 11 対応

ERDAS IMAGINE 2022 Update 1 は、Windows 11 Enterprise 21H2 (Build 22000.318) のリリースバージョンを使用してテストされており、見つかった緊急の問題はすべて対処されています。そのため、ERDAS IMAGINE 2022 Update 1 は、Windows 11 のリリースバージョンで動作することが期待されます。

しかし、Windows 11 は、ERDAS IMAGINE 2022 Update 1 を実行するための公式サポートプラットフォームとはみなされていません。後日、サポートに関する発表が行われる予定です。

## ライセンス

ERDAS IMAGINE 2022 のインストーラーは、地理空間ライセンスツールをインストーラーの一部として自動的にインストールしようとしなくなりました。フローティング/コンカレントライセンスサーバーの設定など、地理空間ライセンスツールの使用を希望する場合は、別途 **Geospatial Licensing 2022** をダウンロードする必要があります。

Geospatial Licensing 2022 の最新版にアップグレードすることを強くお勧めします。現在のバージョンが不明な場合は、Microsoft Windows の「プログラムの追加と削除」ユーティリティを参照してください。

Hexagon Geospatial ウェブサイトの[ダウンロード](#)セクションで適切なダウンロードを見つけることができます。

## Apache Log4j

CVE-2021-44228 Apache Log4j 2 と呼ばれる新たなセキュリティ脆弱性に関する詳細が発表されました。

log4j\_\_V1.2.9.jar は、ERDAS IMAGINE のインストール時に、bin/x64URelease および bin/win32Release フォルダーにベイジアンネットワーク分類器コンポーネントの一部として含まれています。V1.2.9 は、現在の脆弱性が発生している log4j のバージョンより前のものであり、影響を受けることはありません。このファイルは ERDAS IMAGINE では使用されておらず、歴史的な理由で含まれており、将来の v16.8 リリースの際にはインストールから削除される予定です。それまでの間、このファイルの存在が気になる方は、ERDAS IMAGINE のインストールフォルダから安全に削除してください。

ERDAS IMAGINE がベイジアンネットワーク分類器から使用している API は、log4j クラスを使用していないことが確認されています。log4j クラスが使用されていないため、JNDI や JMSAppender の悪用はできません。

ERDAS IMAGINE 2022 Update 1 には、0 バイトのバージョンの jar ファイルが含まれています。つまり、既存の log4j\_\_V1.2.9.jar ファイルが、同じ名前でも 0 バイトのファイル (Java クラスを含まない空のファイル) に置き換えられています。

ERDAS IMAGINE 2022 の今後のアップデートには、log4j\_\_V1.2.9.jar のゼロバイト・バージョンが含まれません。

ERDAS IMAGINE の次のメジャーリリースでは、log4j\_\_V1.2.9.jar が完全に削除される予定です。

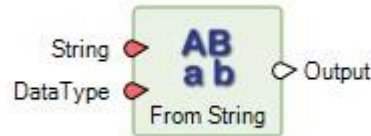
# 新しい技術

## 空間モデラー

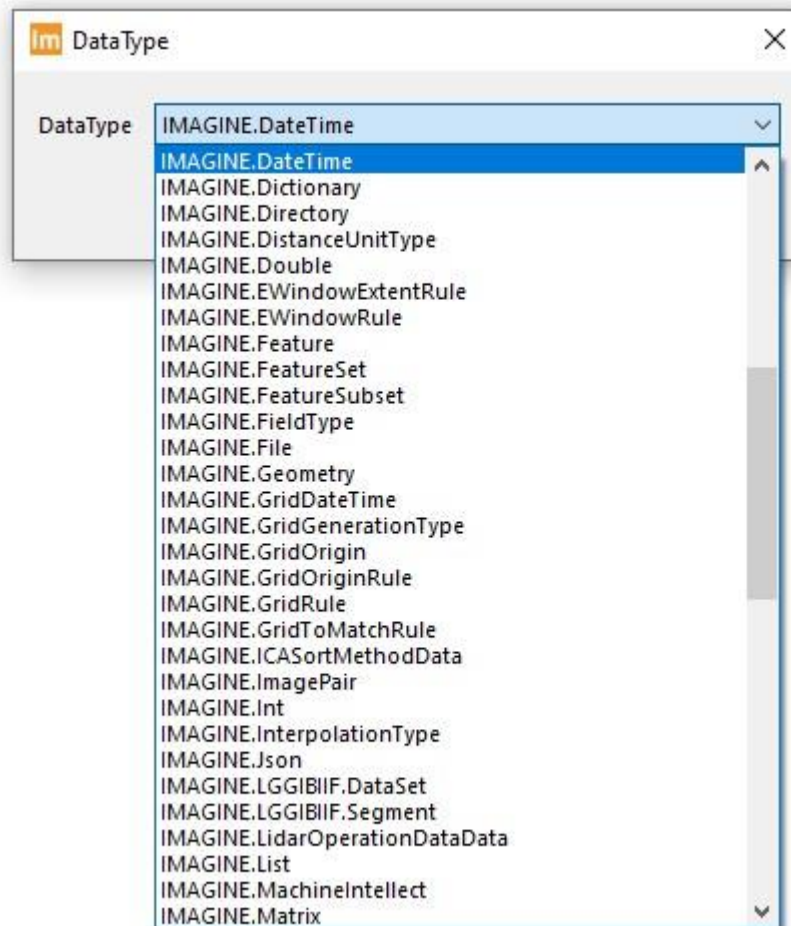
ERDAS IMAGINE 2022 のリリース後、限られた数の Spatial Model Operators に、Windows のスケーリング設定に反応しないダイアログがあることが判明しました。これらは修正されました。

## 更新された Spatial Modeler Operators

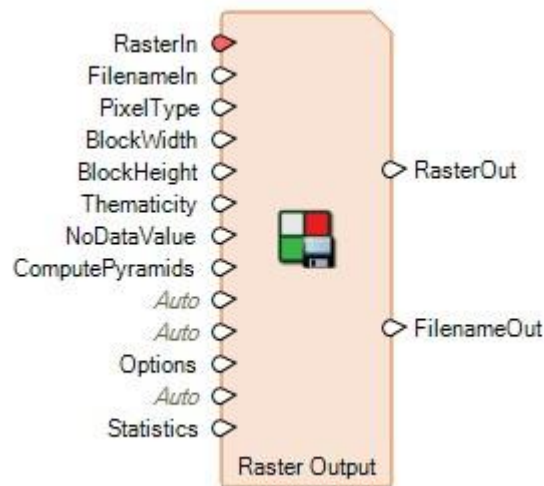
### From String



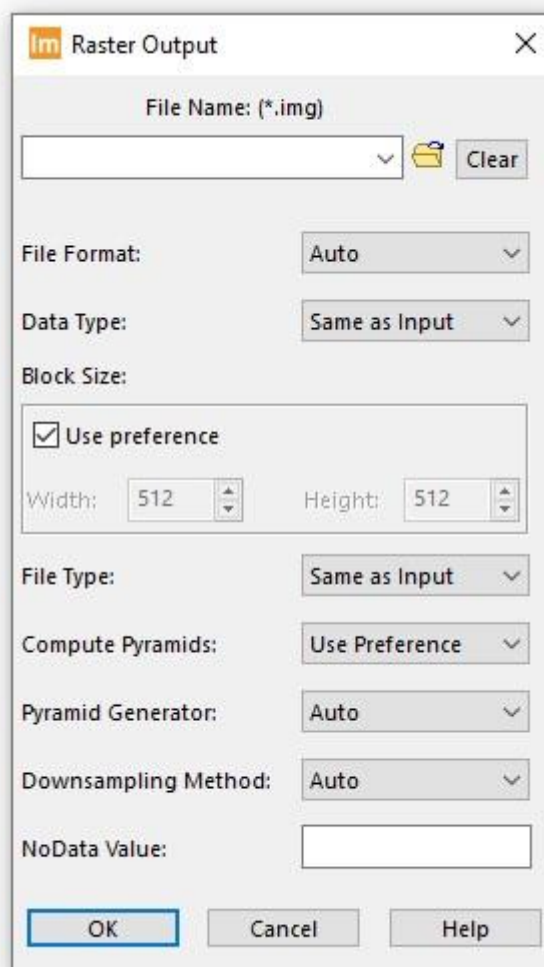
From String 演算子の DataType ポートに、許容できる DataType を選択できるダイアログが表示されるようになりました。これにより、適切な DataType の選択が容易になり、タイプミスを防ぐことができます。



## Raster Output



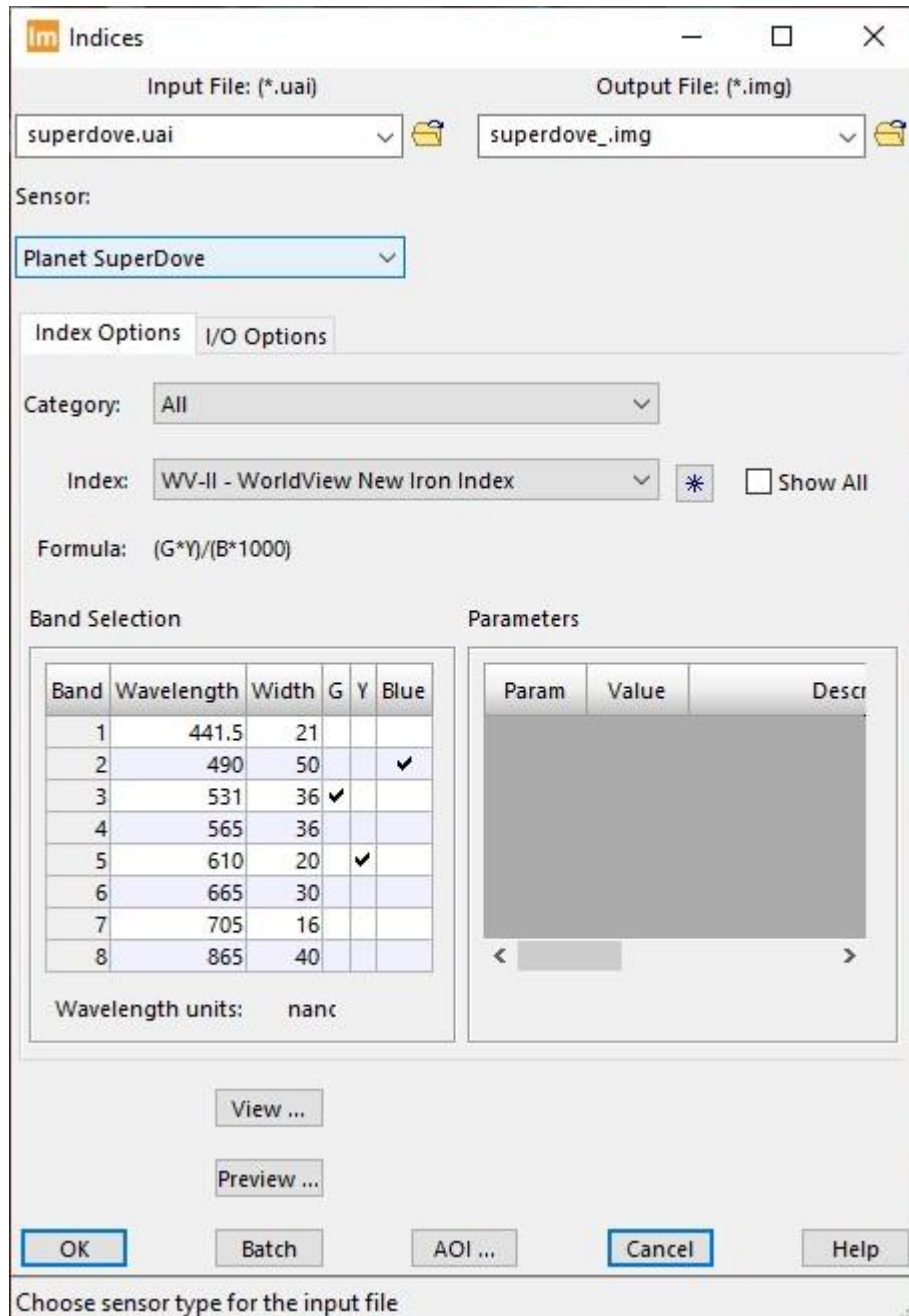
Raster Output オペレーターのダイアログに、以前のリリースで追加された新しいオプションが表示されるようになり、目的のパラメータをより効率的に設定できるようになりました。



## フォーマットサポート

## Planet 社 SuperDove 衛星

Planet の SuperDove 衛星群は、TIFF ラスター-DLL でサポートされています。センサー属性ファイル(SAF)が追加され、2D ビューのバンド選択やインデックスダイアログなどのツールで利用可能な 8 つの波長のバンドを簡単に利用できるようになりました。



### Pleiades Neo サポート

Pleiades Neo DiMAP v2 フォーマットのいくつかの画期的な変更に対応したほか、6バンドの R,G,B,NIR,RE,DB マルチスペクトル画像に対応した **SAF** が追加されました。

### GeoTIFF Vertical Datum タグ

TIFF 形式の標高データの **GeoTIFF VerticalCSTypeGeoKey** に格納されている標高情報パラメータが、**IMG** への変換時や **GeoTIFF** の作成時に保持されるようになりました。以前のバージョンでは、垂直座標系の情報は、親 **TIFF** と同じルート名を持つ別の **.AUX** ファイルに書き込まれていたため、一部のサードパーティアプリケーションでは消失したり、読み込めなかったりすることがありました。**VerticalCSTypeGeoKey** で **TIFF** ファイル自体に内部保存することで、より強固なソリューションとなります。

### Capella SIDD NITF

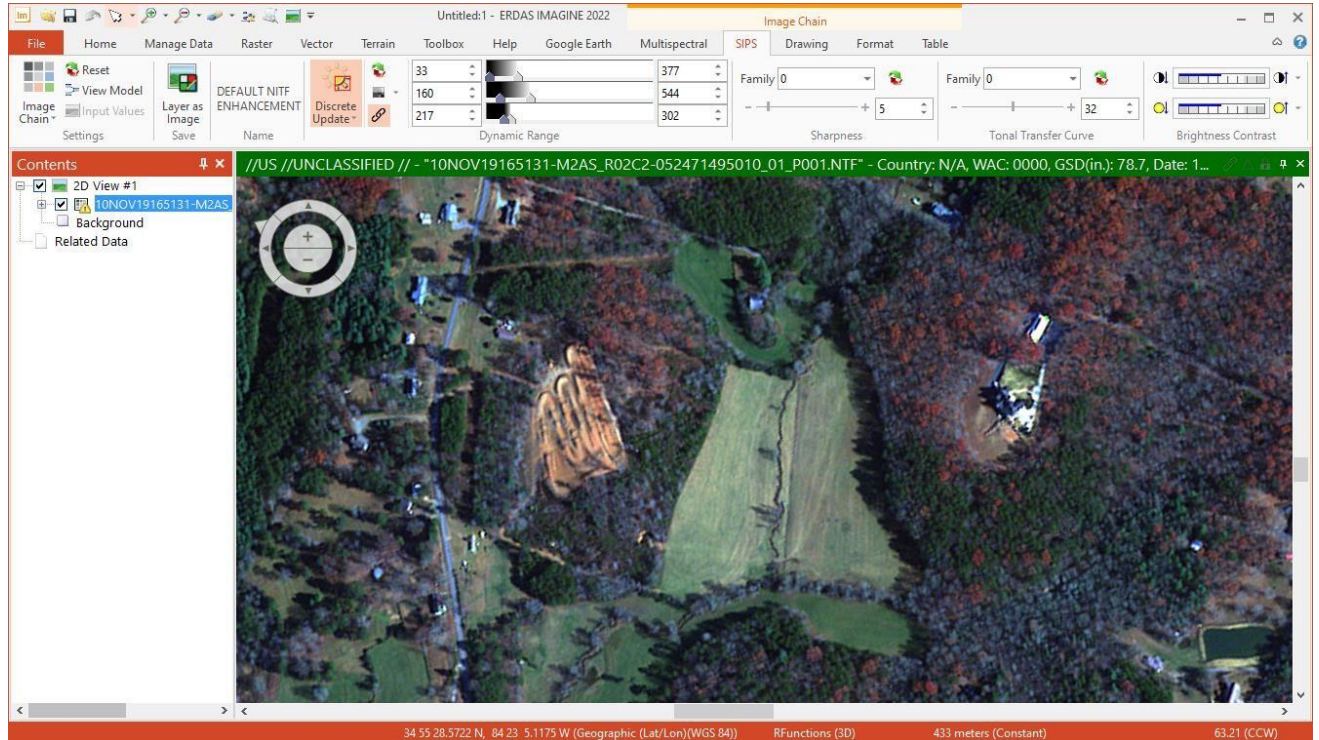
**NITF** 形式の **Capella SIDD** データのサポートがより強固になりました。



## 一般的な ERDAS IMAGINE

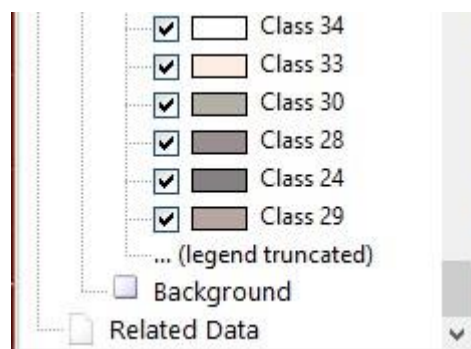
### ダイナミックレンジ調整メニュー

SIPS 固有の Image Chain リボンタブに、ダイナミックレンジ調整メニュー（Live、Discrete、Unique Update）が追加され、タブを切り替えずにそれらのパラメータを効率的に操作できるようになりました。



### [Contents] パネルの [Legend]

[Contents] パネルの [Legend] に、レジェンドが 256 エントリで切り捨てられているかどうかが表示されるようになりました。主題図画像などのデータセットの中には、何十万もの離散的な DN 値（またはそれ以上）があり、その場合 Contents の凡例ですべてを表現しないようにするため、256 エントリで切り捨てられます。この切り捨てが発生したことを示すことで、ユーザーはすべてのクラス値にアクセスするために Raster Attributes CellArray のような代替手段を使用することができます。



### ファイルジオデータベースの地物を編集

ファイルジオデータベース形式で保存されたフィーチャデータを、2D ビューで編集できるようになりました。

## システム要件

### ERDAS IMAGINE

コンピュータ/プロセッサ	64 ビット。Intel 64 (EM64T)、AMD 64、またはそれと同等のもの (4 つ以上の論理プロセッサを強く推奨)
メモリ (RAM)	16GB 以上を強く推奨
ディスク容量	<ul style="list-style-type: none"> <li>ソフトウェア用に 6GB</li> <li>サンプルデータで 7GB</li> <li>データストレージの要件は、マッピングプロジェクト<sup>1</sup>によって異なります。</li> </ul>
オペレーティングシステム <sup>2,3,4</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Windows 10 Pro (64 ビット) (バージョン 1607 以上)</li> <li>Windows 10 Enterprise (64 ビット) (バージョン 1607 以上)</li> <li>Windows Server 2019 (64 ビット) の場合</li> <li>Windows Server 2022 (64-bit)</li> <li>Windows 11 Enterprise (64-bit) (使用可能、現在はサポート対象外)</li> </ul>
ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>OpenGL 2.1 以上 (通常、サポートされているグラフィックカード<sup>5</sup>に付属しています。)</li> <li>Java Runtime 1.7.0.80 以上 - IMAGINE Objective は JRE を必要とし、バージョン 1.7.0.80 以上の JRE がインストール・設定されていれば利用できます。また、Microsoft Visual C++ 2010 x64 Redistributable が必要です。</li> <li>Python 3.7.x (Python はオプションで Spatial Modeler で使用可能です。)</li> <li>Microsoft DirectX<sup>®</sup> 9c 以上</li> <li>.NET Framework 4.7.2 以上</li> <li>NNDiffuse やその他の演算子を GPU で高速化するには、倍精度をサポートするデバイス (cl_khr_fp64) を使用した OpenCL 1.2 が必要です。適切な GPU が存在しない場合、関数は CPU にフォールバックする必要があります。</li> <li>Deep Learning を使用する場合は CUDA Compute レベルが 3.0 以上の NVIDIA カードを、その他の Spatial Modeler Operators を使用する場合は 5.0 以上の NVIDIA カードを推奨します。適切な GPU が存在しない場合、関数は CPU にフォールバックします。</li> </ul>
推奨のグラフィックカード ステレオディスプレイ <sup>6</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>NVIDIA<sup>®</sup> Quadro<sup>®</sup> P6000, P5000, P4000, P2000</li> <li>NVIDIA<sup>®</sup> Quadro<sup>®</sup> M6000, M5000, M4000, M2000</li> <li>NVIDIA<sup>®</sup> Quadro K<sup>®</sup> 5200, K5000, K4200, K4000, K2200, K600, K420</li> <li>NVIDIA Quadro RTX4000</li> </ul>
推奨ステレオ ディスプレイ・モニター	<ul style="list-style-type: none"> <li>NVIDIA 3D Vision<sup>™</sup> キットを搭載した 120Hz (またはそれ以上) の液晶モニター、または</li> <li>シュナイダーデジタル<sup>7</sup> の 3D PluraView システム</li> <li>ビジョン・エンジニアリング CONTOUR 3D 立体視 GIS ディスプレイ</li> </ul>
推奨されるステレオグラ スとエミッターキット	<ul style="list-style-type: none"> <li>NVIDIA 3D Vision<sup>™</sup> キット</li> <li>3DTV ユニバーサルエミッター</li> </ul>

周辺機器	<p>すべてのソフトウェアのインストールに必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スクロールホイール付きの Windows 対応マウスまたは同等の入力デバイス 1 台</li> <li>印刷には Windows 対応のハードコピー機器<sup>8</sup>が必要です。</li> </ul> <p>ソフトウェアのセキュリティ (Hexagon Geospatial Licensing 2022) には、以下のいずれかが必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イーサネットカード、または</li> <li>ハードウェアキー用 USB ポート×1</li> </ul> <p>高度なデータ収集には、以下のいずれかのハンドコントローラー<sup>9</sup>が必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>TopoMouse™または TopoMouse USB™。</li> <li>イマージョン 3D マウス</li> </ul>
	<p><b>MOUSE-TRAK</b></p> <p>ステルス 3D (イマージョン)、S3D-E タイプ、シリアルポート</p> <p>ステルス Z、S2-Z モデル、USB バージョン</p> <p>ステルス V、S3-V タイプ (シリアルデバイスとして追加)</p> <p>3Dconnexion SpaceMouse Pro<sup>10</sup></p> <p>3Dconnexion SpaceExplorer マウス<sup>10</sup></p> <p>Z/I マウス</p>
ArcGIS と GeoMedia 相互運用性	<p>ERDAS IMAGINE は、GeoMedia 2020 または GeoMedia 2022 がインストールされているコンピュータに安全にインストールできますが、互換性を高めるためには、バージョンを合わせてインストールすることを強くお勧めします (アップデートを含む)。</p> <p>ERDAS IMAGINE 2022 は、ライブリンクに GeoMedia 2022 が必要です。インストールの順番は関係ありません。</p> <p>ERDAS IMAGINE は、ファイルジオデータベースと連動することができます。</p> <p>ERDAS IMAGINE は、ArcGIS®バージョン 10.6~10.8.1 がインストールされているコンピュータに安全にインストールすることができます (ただし、ファイルジオデータベースのアクセスに ArcGIS のインストールは必要ありません)。</p>
データベースエンジン	<p>PostgreSQL 13.2 と PostGIS 3.1.1 の組み合わせです。PostGIS を使って GeoMedia Features (.fpf) を格納することができます。</p> <p>Oracle Server 19c (12.2.0.3) 64 ビット。Oracle Server 19c は、Oracle GeoRaster (.ogr) (Oracle Spatial が必要)、SDE Raster (.sdi) (ArcGIS for Server が必要)、Oracle Spatial Features (.ogv) (Oracle Spatial が必要)、および GeoMedia Features (.ofp) の保存に使用できます。</p> <p>Microsoft SQL Server 2019 の 64 ビット。Microsoft SQL Server 2019 は、GeoMedia の保存に使用できます。</p> <p>特徴 (.sfp)</p>

## ERDAS IMAGINE システム要件ノート

<sup>1</sup> ディスク I/O は通常、地理空間データ処理の中で最も遅いタスクです。ハードディスクが速くなれば、生産性が向上します。1つのディスクからデータを読み込み、2つ目のディスクに一時データを書き込み、3つ目のディスクにデータを書き込むことで、パフォーマンスが向上します。ディスクアレイは生産性を向上させますが、RAID オプションによってはパフォーマンスが低下します。ネットワークディスクドライブは、ネットワークの制限を受けます。

<sup>2</sup> IMAGINE Photogrammetry、ORIMA、ERDAS ER Mapper は、サーバーOS には対応していません。

- 3 IMAGINE Photogrammetry は、3D 立体視や周辺機器を必要とするため、OS の選択肢が限られます。
- 4 ERDAS ER Mapper のサポートを含む。
- 5 Windows では、サポートされているすべてのグラフィックスカードに対応した汎用の OpenGL ドライバーが提供されていますが、これらのアプリケーションには、OpenGL に最適化されたグラフィックスカードとドライバーを推奨します。
- 6 旧バージョンの IMAGINE Photogrammetry および ORIMA で認定されたグラフィックカードでも互換性がある場合がありますが、現行バージョンでは認定されていません。ドライバーは R418 より新しいものは使用できません。NVIDIA 社は、2019 年 4 月 11 日にリリースされた R418 U4 (425.31) 以降にリリースされたドライバーの 3D Vision サポートを停止しました。
- 7 旧バージョンの IMAGINE Photogrammetry および ORIMA で認定されたステレオモニターも互換性がありますが、現行バージョンでは認定されていません。
- 8 HP-RTL ドライバーの使用を推奨します。Windows 64 ビットのプリントサーバーには、64 ビットのプリントドライバーが必要です。
- 9 Stereo Analyst for ERDAS IMAGINE では、Stealth S-Mouse (S2-S モデル) と MOUSE-TRAK のみ対応しています。
- 10 3Dconnexion のマウスは IMAGINE Photogrammetry に対応しています。

## 問題の解決 - ERDAS IMAGINE 2022 Update 1

### IMAGIN Essentials

サポートチケット	概要 - IMAGINE Essentials
00035101	ハイレゾモニターからローレゾモニターにスペクトルプロファイルウィンドウをドラッグすると、Spectral Profile Tool がクラッシュする。
00031144	ディレクトリベースで開いた Sentinel-2 画像のイメージチェーンを SIPS に変更すると、クラッシュが発生します。 S2*_SAFE ラスター-DLL
00023117	ベクトル属性のセル配列を開き、フィーチャー内をクリックすると、列の見出しが消えてしまう

### IMAGINE Advantage

サポートチケット	まとめ - IMAGINE Advantage
00022722	Terrain Prep Tool で作成された等高線に非整数の値を使用できるようになりました。
00023378	カラーバランスを有効にした.mop を使用し、大量の TIFF 画像を入力すると、MosaicPro がクラッシュしました。

## IMAGINE Objective

サポートチケット	概要 - IMAGINE Objective
00023143	IMAGINE Objective のベクトルオブジェクトプロセッサ Association:Shadows の Compute 機能を有効にして使用すると、影の角度が 359 度と報告されるという問題がありました。これが修正され、データに適した角度が返されるようになりました。
00023129	長方形度に対する分布境界が使用されていない

## IMAGINE Photogrammetry

サポートチケット	まとめ - IMAGINE Photogrammetry
00023574	RPC 生成ツールの出力で、STDI-0002 Appendix E の RPC 仕様に合わない RPC ファイルが出力されていました。

## IMAGINE Professional

サポートチケット	まとめ - IMAGINE Professional
00023214	Spectral Analysis Workstation の [Edit Spatial Subset] から AOI を使用するサブセット出力オプションでは、「-inf」に割り当てられた背景値が書き込まれます。出力されたサブセットはエラーなく表示できますが、内容を視覚的に解釈することはできません。出力はデータの固まりとして表示されます。

## 空間モデラー

サポートチケット	概要 - 空間モデラー
00031363	Features 入力オペレータが GeoPackage からすべてのジオメトリを読み込まないことがある。  これは、特定の GeoPackage が (誤った) Feature Count を 0 にしていて、それに対応していなかったことに起因する。
00029935	「Define Point Match Options」の操作でクラッシュする問題がありました。  「Generate Control Points Based On Reference」および「Define Point Match Options」オプションを使用してモデルを作成する場合、「UseCustomPointDistribution」オプションを使用するとクラッシュすることがありました。
00023173, 00023213	オブジェクト検出では、NoData 領域のオブジェクトを検出します。
00035645	CLAHE オペレータモデルでは、下流の Band Selection オペレータがラスタストリームを個々のバンドに分割する際に、予想外のラスタ出力バンド値を生成することがあります。
00035338	[Convert To Raster] オペレーターは、入力フィーチャーではなく、入力ファイルの範囲に出力します。
00023222	Read Image Parameters For Frame Camera Model operator UI プロバイダのセル配列に「Image Orientation」列が表示されない。



## ヘキサゴンについて

Hexagon は、センサー、ソフトウェア、自律型技術を組み合わせたデジタルリアリティソリューションの世界的リーダーです。産業、製造、インフラ、公共、モビリティの各分野で、効率、生産性、品質、安全性を高めるためにデータを活用しています。

私たちの技術は、生産現場や人に関連する生態系を、ますます連結された自律的なものに変え、スケールアップで持続可能な未来を確実なものにします。

Hexagon の安全・インフラ・地理空間部門は、重要なサービスの性能、効率、回復力を向上させます。安全・インフラソリューションは、スマートで安全な都市を実現します。地理空間ソフトウェアは、位置情報の力を活用しています。

ヘキサゴン (Nasdaq Stockholm: HEXA B) は、世界 50 カ国に約 21,000 人の従業員を擁し、約 38 億ユーロの純売上高を誇ります。詳細は [hexagon.com](https://hexagon.com) で、また [@HexagonAB](https://twitter.com/HexagonAB) でフォローしてください。

### 著作権について

© 2022 Hexagon AB and/or its subsidiary and affiliates. すべての著作権は Hexagon AB に帰属します。

警告 本書の対象となる製品は、コンピュータ・プログラム、アイコン、グラフィック・シンボル、ファイル・フォーマット、オーディオ・ビジュアル・ディスプレイ、およびドキュメント（本書を含む）を含みません（以下、総称して「対象製品」といいます）。適用されるソフトウェア・ライセンス契約の下でのみ許可され、そこでの対象製品の使用に適用されるすべての制限および条件に従って使用することができます。対象製品には、Intergraph Corporation の機密情報および専有情報が含まれています。

対象製品は、Hexagon Group of companies（以下、「Hexagon」）、その関連会社、および／または第三者によって提供されます。そのため、対象製品は、特許法、商標法、著作権法、企業秘密法によって保護されており、以下に引用する適用条件に違反して、いかなる第三者にも移転、譲渡、提供、またはその他の方法で利用可能にすることはできません。

### ご利用規約

お客様は、対象製品をインストール、コピー、ダウンロード、アクセス、閲覧、またはその他の方法で使用することにより、こちら

([https://www.hexagonsafetyinfrastructure.com//media/Legal/Hexagon/SI/Licenses/EULA\\_SA\\_SIG-](https://www.hexagonsafetyinfrastructure.com//media/Legal/Hexagon/SI/Licenses/EULA_SA_SIG-Eng_062021.pdf)

[Eng\\_062021.pdf](https://www.hexagonsafetyinfrastructure.com//media/Legal/Hexagon/SI/Licenses/EULA_SA_SIG-Eng_062021.pdf)) に記載されている EULA の条項に拘束されることに同意されたものとします。免責事項

Hexagon とそのサプライヤーは、本書の情報が発行日時時点で正確であると信じています。六角社は、本書に掲載されている誤りについて責任を負いません。本書に記載されている情報やソフトウェアは、予告なく変更されることがあります。

言語翻訳に関する免責事項：本文書の正式版は英語で書かれています。本ドキュメントの英語以外の言語への翻訳は、正式版ではなく、便宜上提供されているものです。翻訳文の一部は機械翻訳で作成されている場合があります。翻訳はすべて「現状のまま」提供されます。翻訳版と公式英語版との間に生じた矛盾や差異は、拘束力を持たず、コンプライアンスやエンフォースメントの目的では法的効力を持ちません。Hexagon は、翻訳の正確性に関して、明示的か黙示的かを問わず、一切の保証をしません。

正確な翻訳を提供するために合理的な努力がなされていますが、自動翻訳であれ、人間の翻訳者によるものであれ、完璧な翻訳はありません。翻訳されたドキュメントに含まれる情報の正確さに疑問が生じた場合には、正式な英語版を参照してください。また、テキスト、グラフィックス、PDF 文書、その他の添付資料の中には、翻訳されていないものもあります。

### 第三者のウェブサイトへのリンク

本文書では、お客様の便宜と情報提供のために、第三者のウェブサイトへのリンクを提供することがあります。第三者のウェブサイトは、それぞれの規約に準拠します。Hexagon は、リンク先の企業や製品を推奨するものではありません。

第三者のウェブサイトは、Hexagon が管理できない独立した第三者によって所有、運営されています。六角は、お客様による第三者のウェブサイトの利用に起因するいかなる責任も負いません。お客様が第三者のウェブサイトに、またはそこから行ういかなるリンクも、お客様自身の責任で行うものとし、お客様が第三者のウェブサイトと共有するいかなる情報も、機密性、データプライバシー、セキュリティに関連するものを含む第三者のウェブサイトの条件に従うものとしします。

Hexagon は、Hexagon 国際データへのアクセスを提供します。そのため、お客様の国では発表されていない Hexagon の製品、プログラム、サービスへの参照や相互参照が含まれている場合があります。これらの参照は、Hexagon がお客様の国でそのような製品、プログラム、サービスを発表する意図があることを示唆するものではありません。

### リビジョン

Hexagon は、いつでも本規約を改訂する権利を有します。お客様は、本規約を定期的に確認する責任があります。かかる変更の発効日以降、お客様が本文書を継続して使用することにより、お客様はかかる変更を受け入れ、同意したものとみなされます。

### 質問

本規約に関するご質問は、こちらまでお寄せください。